

# 平成30年度 高校生議会



鳥取県の次世代を担う県内高校生が県議会本会議場に集い、知事や教育長らに質問する高校生議会が8月2日（木）に開かれ、県政の諸課題について活発な論戦を展開した。

この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、若者たちに県政への関心を高めてもらおうと毎年開催しているもので、今年は記念すべき第10回目。

県内9校から13名の高校生が参加し、指導役に県議会議員が付いて、質問の要領など個別にアドバイスを受けながら質問の原稿作成を進めてきた。

高校生議会当日の議長役には、米子北斗高等学校の松井晴香さん、米子松蔭高等学校の河合真希さん、米子北高等学校の岡田莉沙さん、米子東高等学校の庄司光希さんの4名が交代で務めた。

参加した生徒たちは、日常生活の身近な疑問や今まさに本県が直面している参議院の合区問題、若者の地元離れなど、さまざまな県政課題に切り込み、議員さんながらに鋭い質問・提言を行った。

米子東高2年の庄司光希さんと大原みなみさんは、鬼太郎プロジェクトマップや大山エリアでのポケモンGO誘致、大山ブランドを生かした鳥取県の活性化策について平井知事に提言。

また、鳥取敬愛高校3年の森勇也さんは、鳥取県支え愛交通安全条例について、「まだ県民に認知されていない」「罰則の付与や条例の周知を進める取り組みが必要」と県執行部に質した。

閉会では福間副議長から、「皆さんの声が反映

され実現できるのが政治。選挙で投票し、みんなで政治をつくっていこう」と呼びかけ、参加した生徒からは、「どのような過程で県政が行われているか知ることができた」「今後も、議員と交流できる場をつくってほしい」など大変好評であった。

(質問順)

高等学校名	生徒氏名	質問項目
米子北	岡田 莉沙	合区について
米子東	庄司 光希 大原みなみ	鳥取を盛り上げる今後の政策について
鳥取敬愛	森 勇也	「鳥取県支え愛交通安全条例」の改定と周知に関して
倉吉農業	岩山 泰士	県内産木材の普及、CLT材の利用方法について
境	石黒 蓮 川本 竜也	鳥取県の観光客増加の取組について 1. 観光客増加の取組について 2. ゴミの不法投棄問題について
倉吉総合産業	藤田 和弥 鈴木 沙羅	歩道の除雪について
米子松蔭	河合 真希	若者の夢のきっかけとなる教育 — ICTを使った学習の可能性を考える —
青翔開智	中尾 尚哉 岡 拓哉	道路補修について
米子北斗	松井 晴香	高校生の視点から見た身近な課題 1. 若者の地元離れ 2. 高齢者の移動手手段の確保